

## 正誤表

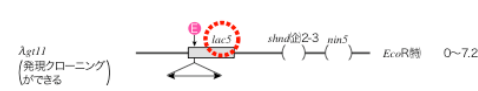
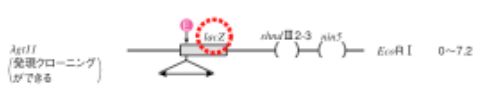
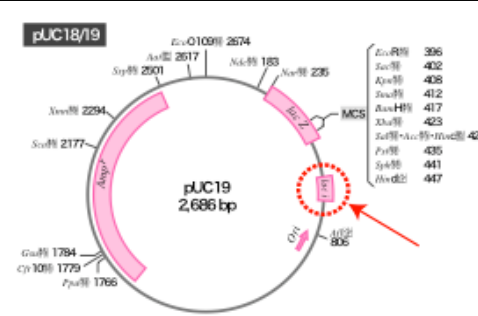
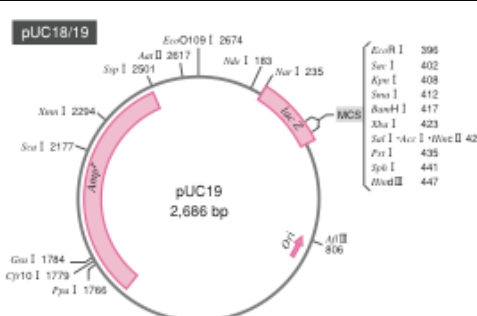
本書中に訂正箇所等がございました。訂正し、お詫び致します。お手数をお掛けしますが、訂正箇所を書き込んでお使いいただきますよう、お願い申し上げます。

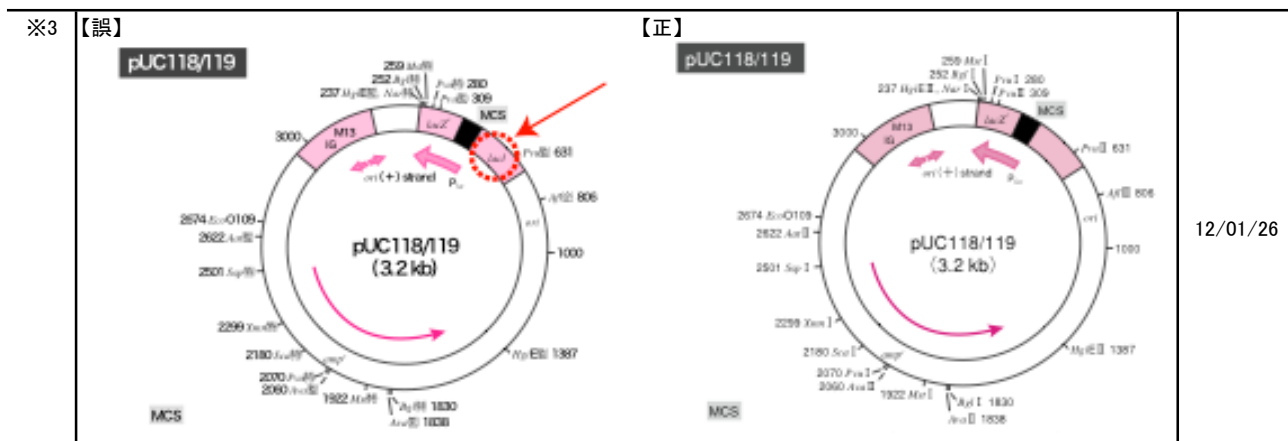
(2012年1月26日作成)

### ■第3刷(2009年9月25日発行)をおもちの方が必要な修正箇所

頁	場所	誤	正	補足	掲載
<b>I部-第2章</b>					
38	表2-1-2 オリゴヌクレオチド の式	$T_m = [2^\circ\text{C} \times (\text{AとTの数})] + [4^\circ\text{C} \times (\text{GとCの数})] + 35 - 2N$	$T_m = [2^\circ\text{C} \times (\text{AとTの数})] + [4^\circ\text{C} \times (\text{GとCの数})]$	最終行の「+35-2N」を削除	12/01/26
<b>I部-第7章</b>					
198	表7-1-3の6行目 遺伝型の表記	$F'$ :	$F'$	「:」を削除	12/01/26
213	プロトコール74の手 順3	～上清を捨てた後、溶液16mlを加えて～	～上清を捨てた後、 <b>CaCl<sub>2</sub></b> 溶液16mlを加えて～		12/01/26
228	上から3行目	$\lambda$ gt11は <b>lac5</b> の内部にインサートを～	$\lambda$ gt11は <b>lacZ</b> の内部にインサートを～		12/01/26
229	図7-7-2 $\lambda$ gt11の構造	<b>lac5</b>	<b>lacZ</b>	※1参照	12/01/26
<b>II部-第3章</b>					
276～ 277	両端の列の上から 6番目のセル	T流DNAの除去	下流DNAの除去		12/01/26
281	右から2番目の列 上から5番目のセル(DNase Iの金属イオン)	$\text{Mg}^{2+}$ , $\text{Mn}^{2+}$	<b>Ca<sup>2+</sup></b> , $\text{Mg}^{2+}$ , $\text{Mn}^{2+}$		12/01/26
<b>II部-第6章</b>					
299	A)	濃度 <b>既</b> 算法	濃度 <b>概</b> 算法		11/03/25
307	グラフ縦軸の単位	<b>Da</b>	<b>kDa</b>		11/03/25
<b>II部-第7章</b>					
310	Data57下から2行 目のアミノ酸残基 数	<b>6～8</b>	<b>8</b>	FLAG(DYKDDDDK)の アミノ酸残基数	12/01/26
311	上から6行目、中央 のカラム	10g 5g <b>5g</b>	10g 5g <b>10g</b>	LB mediumのNaCl	12/01/26
312	pUC18/19の構造		<i>lac i</i> を削除	※2参照	12/01/26
313	pUC118/119の構造		<i>lac I</i> の文字を削除	※3参照	12/01/26

#### 図表

※1	【誤】 	【正】 	12/01/26
※2	【誤】 	【正】 	12/01/26



## ■第2刷(2007年6月20日発行)をおもちの方が必要な修正箇所

頁	場所	誤	正	補足	掲載
I 部-第2章					
38	表2-1-2 オリゴヌクレオチド の式	$T_m = [2^\circ\text{C} \times (\text{AとTの数})] + [4^\circ\text{C} \times (\text{GとCの数})] + 35 - 2N$	$T_m = [2^\circ\text{C} \times (\text{AとTの数})] + [4^\circ\text{C} \times (\text{GとCの数})]$	最終行の「+35-2N」を削除	12/01/26
I 部-第3章					
70	表3-2-2左端	上から「末端構造, 3'突出, 5'突出」	上から「末端構造, 5'突出, 3'突出」		07/08/09
84	表3-4-1 滅菌水の値	上から「7.74, 7.74, 7.74, 7.74, 7.74」	上から「7.74, 7.24, 6.24, 4.9, 2.24」		07/08/09
I 部-第7章					
198	表7-1-3の6行目 遺伝型の表記	$F'$ :	$F'$	「:」を削除	12/01/26
213	プロトコール74の手 順3	～上清を捨てた後, 溶液16mlを加えて～	～上清を捨てた後, $\text{CaCl}_2$ 溶液16mlを加えて～		12/01/26
228	上から3行目	$\lambda$ gt11は <i>lac5</i> の内部にインサートを～	$\lambda$ gt11は <i>lacZ</i> の内部にインサートを～		12/01/26
229	図7-7-2 $\lambda$ gt11の構造	<i>lac5</i>	<i>lacZ</i>	※1参照	12/01/26
I 部-第9章					
195	2行目	4,655塩基対	4,655K塩基対		07/08/09
II 部-第1章					
239	尿素の分子式と分 子量	分子式: $\text{C}_2\text{H}_4\text{N}_2\text{O}_3$ 分子量: 168.1	分子式: $\text{CH}_4\text{N}_2\text{O}$ 分子量: 60.06		09/05/29
250	最下部の式	R(mm)	R(cm)	1刷は正しい表記	07/06/26
II 部-第3章					
276～ 277	両端の列の上から 6番目のセル	T流DNAの除去	下流DNAの除去		12/01/26
279	②S1スクレアーゼ	$\text{ZnSO}_4$	$\text{ZnSO}_4$		07/08/09
281	右から2番目の列 上から5番目のセル(DNase Iの金属 イオン)	$\text{Mg}^{2+}$ , $\text{Mn}^{2+}$	$\text{Ca}^{2+}$ , $\text{Mg}^{2+}$ , $\text{Mn}^{2+}$		12/01/26
II 部-第6章					
299	A)	濃度既算法	濃度概算法		11/03/25
307	グラフ縦軸の単位	Da	kDa		11/03/25
II 部-第7章					
310	Data57下から2行 目のアミノ酸残基 数	6～8	8	FLAG (DYKDDDDK) のアミノ酸残基数	12/01/26
311	上から6行目, 中央 のカラム	10g 5g 5g	10g 5g 10g	LB mediumのNaCl	12/01/26
312	pUC18/19の構造		<i>lac i</i> を削除	※2参照	12/01/26

313	pUC118/119の構造		<i>lacI</i> の文字を削除	※3参照	12/01/26
<b>図表</b>					
※1	【誤】		【正】		12/01/26
※2	【誤】		【正】		12/01/26
※3	【誤】		【正】		12/01/26

■ 第1刷(2006年6月30日発行)をおもちの方が必要な修正箇所

頁	場所	誤	正	補足	掲載
I部-第1章					
31~34		※内容が「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」(カルタヘナ法)施行以前のものとなっていました。		※本PDFの3~6頁目の紙面に差し替えてください	07/06/26
I部-第2章					
38	表2-1-2 オリゴヌクレオチドの式	$T_m = [2^{\circ}\text{C} \times (\text{A}+\text{T}の数)] + [4^{\circ}\text{C} \times (\text{G}+\text{C}の数)] + 35 - 2N$	$T_m = [2^{\circ}\text{C} \times (\text{A}+\text{T}の数)] + [4^{\circ}\text{C} \times (\text{G}+\text{C}の数)]$	最終行の「+35-2N」を削除	12/01/26
44	12行目	(ブリーチのようなもの)	(次亜塩素酸ナトリウムなど)		07/06/26
I部-第3章					
70	表3-2-2左端	上から「末端構造, 5'突出, 3'突出」	上から「末端構造, 3'突出, 5'突出」		07/08/09
84	表3-4-1 滅菌水の値	上から「7.74, 7.74, 7.74, 7.74, 7.74」	上から「7.74, 7.24, 6.24, 4.9, 2.24」		07/08/09
I部-第7章					
198	表7-1-3の6行目 遺伝型の表記	<i>F'</i> :	<i>F'</i>	「:」を削除	12/01/26
213	プロトコール74の手順3	~上清を捨てた後, 溶液16mlを加えて~	~上清を捨てた後, <b>CaCl<sub>2</sub></b> 溶液16mlを加えて~		12/01/26
228	上から3行目	<i>λgt11</i> は <i>lac5</i> の内部にインサートを~	<i>λgt11</i> は <i>lacZ</i> の内部にインサートを~		12/01/26
229	図7-7-2 <i>λgt11</i> の構造	<i>lac5</i>	<i>lacZ</i>	※1参照	12/01/26
I部-第9章					
195	2行目	4,655塩基対	4,655 <b>K</b> 塩基対		07/08/09

II部-第1章

239	尿素の分子式と分子量	分子式: $C_6H_4N_4O_3$ 分子量: <b>168.1</b>	分子式: $CH_4N_2O$ 分子量: <b>60.06</b>		09/05/29
250	中央のスケール下部	<b>遠心</b> 加速度	<b>遠心</b> 加速度		07/06/26

II部-第3章

276~277	両端の列の上から6番目のセル	<b>T</b> 流DNAの除去	<b>下</b> 流DNAの除去		12/01/26
279	②S1ヌクレアーゼ	$ZnSO_4$	$ZnSO_4$		07/08/09
281	右から2番目の列上から5番目のセル(DNase Iの金属イオン)	$Mg^{2+}$ , $Mn^{2+}$	<b><math>Ca^{2+}</math></b> , $Mg^{2+}$ , $Mn^{2+}$		12/01/26
281	右端の列の上から2番目のセル	エキソヌクレアーゼ5→3	エキソヌクレアーゼ5→3 <b>dsDNA</b>		07/06/26

II部-第6章

294			<b>内側から外側へ順に、コドンの1文字目、2文字目、3文字目と読んでいく</b>	説明文を追加	07/06/26
299	A)の丸1	濃度 <b>既</b> 算法	濃度 <b>概</b> 算法		11/03/25
307	グラフ縦軸の単位	<b>Da</b>	<b>kDa</b>		11/03/25

II部-第7章

310	Data57下から2行目のアミノ酸残基数	<b>6~8</b>	<b>8</b>	FLAG(DYKDDDDK)のアミノ酸残基数	12/01/26
311	上から6行目、中央のカラム	10g 5g <b>5g</b>	10g 5g <b>10g</b>	LB mediumのNaCl	12/01/26
312	pUC18/19の構造		<i>lac i</i> を削除	※2参照	12/01/26
313	pUC118/119の構造		<i>lacI</i> の文字を削除	※3参照	12/01/26

図表

※1	【誤】		【正】		12/01/26
※2	【誤】		【正】		12/01/26
※3	【誤】		【正】		12/01/26